

(2) 施策の方針

第1章 人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち

分野(3) 多文化共生社会

施策の方針① 多文化共生社会の推進

<目標とすべきまちの姿>

国籍や民族の異なる人々が互いの文化を認め合い、情報交換や情報発信がさらに促進されるとともに、公共施設利用案内の翻訳や改善が行われ、だれもが安全で安心して暮らせるまちとなっています。

1 事業評価結果一覧表

経営企画部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
経企-12	都市提携事業	323	7,904	1.0	a	B
経企-21	国際交流推進事業	280	4,075	0.5	b	B

2 平成26年度末の目標

経営企画部

パートナーシティ提携希望団体との調整を行い、相手方都市と提携を行っていく。
国際交流・協力団体相互のネットワークの強化が図られるよう、連絡会の開催や情報誌の作成などを継続的に実施する。また、国際交流講座の開催を通じて、国際交流や国際協力が市民により身近になるよう努める。

3 平成26年度の取組の評価

経営企画部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

パートナーシティ提携希望先のうち、アメリカ合衆国ナッシュビル市、宮城県宮城郡七ヶ浜町及び岩手県大船渡市の3都市との提携を行い、市民による都市交流の推進を図ることができた。また、協働により国際交流フェスティバルを開催したほか、中学生及び高校生のための国際理解講座を開催し、ネットワークの強化や国際交流、国際協力の理解を促進した。

4 今後の方向性

経営企画部

新たなパートナーシティ提携希望団体との調整を行っていくとともに、既提携先へのさらなる支援について検討していく。また、今後も引き続き国際交流関連事業を実施する中で、行政レベル、市民レベルで国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の国際化を進めることにより、外国籍市民とともに暮らしやすい、世界に開かれたまちづくりを図る。

5 平成27年度末の目標

経営企画部

新たな都市とのパートナーシティ提携について調整を行い、提携の条件が整った場合には提携を行う。また、既提携先については、費用のかからない範囲で支援を拡充する。ニース市との姉妹都市提携については、平成28年度に迎える50周年事業の準備を進める。

国際交流や国際協力をテーマとした講座や国際交流フェスティバルを引き続き開催することにより、市民の国際交流・国際協力活動への支援を行うとともに、外国籍市民が暮らしやすい環境の整備の手法について検討を行う。また、2020年開催の東京オリンピック2020に向け、神奈川県と共に、鎌倉市の文化・芸術を生かした文化プログラムの策定について検討していく。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・市民レベルの交流を支援している点。

2 課題・提言

- ・都市連携事業では、姉妹都市提携のこれまでの評価を実施すべきである。
- ・国際交流推進事業では、外国籍市民だけを対象としているが、鎌倉を訪れる外国人観光客への配慮(マナー、ルール)も含めて観光との連携を検討していく必要がある。
- ・国際交流フェスティバル等の情報を市民にもっと発信してほしい。